

TOKYO パラスポーツ FORWARD

2023.8.24

延べ 4,200 人がパラスポーツの魅力を感じ

東京都は、東京 2020 パラリンピック開幕から2年を迎える 8 月 24 日に都庁周辺にて「TOKYO パラスポーツ FORWARD」を開催しました。本イベントでは、都庁通りで行われたパラ陸上・パラ自転車の競技デモンストレーションをはじめ、都民広場、都民ホール、都政ギャラリーを舞台に、パラスポーツの魅力を感じることができる様々なコンテンツが展開されました。

平日にもかかわらず、多くのみなさまに会場いただいたイベントの様子をお伝えします。

【競技デモンストレーション】

都庁通りで開催されたパラ陸上・パラ自転車の競技デモンストレーションのオープニングには、小池百合子都知事、パラ陸上の解説者・増田明美さんと花岡伸和さん、パラ自転車の解説者・権丈泰巳さん及び各競技の選手、東京 2020 大会マスコットのミライトワ・ソメイティが登場し、小池都知事は、次のように挨拶をしました。「2 年前の 8 月 24 日は、東京 2020 パラリンピックがスタートした日です。大会では、パラアスリートの皆さんが限界を越えて素晴らしい戦いを繰り広げてくださいました。そして2年後の今日、都庁の真ん前で皆さんとともに『TOKYO パラスポーツ FORWARD』を開催できることをとてもうれしく思います。デモンストレーションでは東京 2020 パラリンピックの金メダリストも登場いたします。世界トップクラスのスピードと迫力をどうぞ目の前でご覧ください。そして、1 年後にパリ大会も控えていますので、パラスポーツのムーブメントをみなさんと盛り上げていきましょう。」

その後、小池都知事が号砲を鳴らして競技デモンストレーションがスタートしました。



デモンストレーションには、パラ陸上の佐藤友祈選手と樋口政幸選手が100m タイムトライアルを、パラ自転車からは葭原滋男選手と水澤耕一選手、栗原梢選手と大木卓也選手、大城竜之選手と高橋仁選手の3組が出場して420mのタイムトライアルを行いました。このコーナーには、お笑い芸人のバイク川崎バイクさん、フルーツポンチさん、ガリットチュウさんも参加し、会場を盛り上げました。



バイク川崎バイクさん、フルーツポンチさん
ガリットチュウさん



バイク川崎バイクさん

先に行われたパラ陸上のデモンストレーションでは、最初にバイク川崎バイクさんが車いすレーサーで100m タイムトライアルに挑戦。世界で活躍するパラアスリートにも匹敵する18秒台が目標と、強気な発言がありましたが、終わってみれば45秒60。「自分は速く走っていると思っているのに遅い」と、車いすレーサーの操縦性の難しさを語ってくれました。その後、樋口選手、佐藤選手が挑戦。2人とも長距離種目が専門ですが、樋口選手が16秒60、佐藤選手が18秒40というタイムを出しました。また、レースの合間では解説の増田明美さんが、樋口選手のトレーナーは奥様などという、テレビのマラソン中継でお馴染みのマニアックな選手情報を披露してくれました。



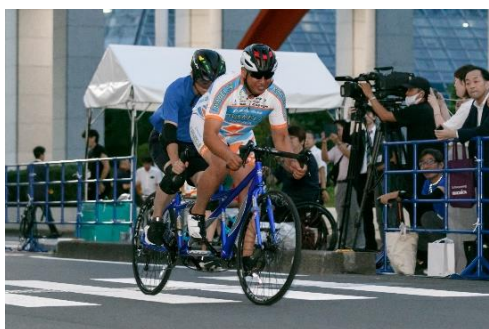
樋口選手



佐藤選手

パラ自転車（タンデム）は、視覚障害者対応の競技で、前に健常の選手のパイロット、後ろに視覚障害の選手が乗り、2選手が呼吸を合わせて自転車を漕ぐのがポイントです。

デモンストレーションでは、フルーツポンチの村上健志さんが、パイロットの大木選手とペアを組んで挑戦。同じ茨城県出身で同級生であることがわかり、大いに盛り上がりましたが、タイムは52秒923。ここで解説の権丈泰巳さんが「このあとの選手は現役を退いているので、40秒を切ることを目標にしてもらえれば」とコメント。すると、2000年シドニーパラリンピックの金メダルコンビ葎原選手と水澤選手が39秒327をマーク。しかも途中、水澤選手のペダルが外れるアクシデントがありながらの好タイムだっただけに、「来年のパリパラリンピックを狙おうかな」という代表復帰宣言が飛び出しました。



前から大木選手・フルーツポンチ村上さん



前から水澤選手・葎原選手

続いて栗原選手と大木選手が挑戦。タイムは41秒831。このタイムに納得のいかない村上さんは、「（自分の時は）大木選手が手を抜いていた」とクレームを入れると、大木選手は「大事な芸人さんを乗せていたので」と返していました。

最後を飾った大城選手と高橋選手は、2008年北京パラリンピックの日本代表ユニフォームで登場し、38秒278とこの日最高タイムを打ち出しました。大城選手は「久しぶりの緊張感で走れたので楽しかった」と話すと、高橋選手も「みなさんの応援もあって、最後にいい記録を出さないと」と、好タイムを出せた喜びを語ってくれました。



前から大木選手・栗原選手



前から高橋選手・大城選手

<参加者の声>

- オリンピック、パラリンピックが無観客で行われたため、開催地の住民としての思い出が少ない。今後もこのようなイベントをたくさん企画していただきたい。
- 暑い中ありがとう ガンバレ日本！！

【スペシャルステージ】

都民ホールで開催されたスペシャルステージでは、フリーアナウンサーの平井理央さんがMCを担当、稲垣吾郎さん、草彅剛さん、香取慎吾さんに加えて、車いすテニスの小田凱人選手、パラ陸上の佐藤友祈選手とトークを展開。会場は当選倍率約 13 倍のチケットを手にした観覧者で満席でした。



香取さんの大ファンだという佐藤選手は、来年のパリパラリンピックに応援に来てもらう約束を取り付けていました。またステージの途中では、国民栄誉賞を受賞した元プロ車いすテニスプレーヤーの国枝慎吾さんから動画メッセージが届き、小田選手、佐藤選手へのメッセージとともに、香取さんへ「ダブル慎吾として、一緒にパリパラリンピックへ行きましょう」という言葉もありました。

また来年に迫るパリパラリンピックについて、佐藤選手は2大会連続での金メダル獲得と世界記録更新を目指すことを宣言。小田選手は、「初めてのパラリンピックで、出場することを想像するだけで練習を頑張れるくらい夢の舞台なので、すごい楽しみです」と話してくれました。

その後、小池都知事も登壇し、「佐藤選手は2年前のパラリンピックで2つの金メダルを取り、今日もデモンストレーションでは迫力あるところを見せていただきましてありがとうございました。来年のパリ大会でも、頑張ってくださいと思います。そして小田選手はあっという間にさまざまな大会で優勝してすごいですね。みんなワクワクしながら楽しみにしておりますので、どうぞお二人、頑張ってください」と佐藤選手、小田選手へエールを送りました。



ステージ終盤には稲垣さん、草薙さん、香取さんが「雨あがりのステップ」を披露。小田選手、佐藤選手からは「こんな間近で3人の歌が聞けて本当にうれしかったです」との感想がありました。



フィナーレでは、小池都知事から「世界を舞台に活躍するパラアスリートの姿は私たちに勇気と希望を与えてくれます。これからもみんなでパラスポーツを盛り上げ、パラアスリートを応援してまいりましょう」とコメント。佐藤選手は「9月には国立競技場で試合があるのでみなさん応援に来てくれたらうれしいです」と語り、小田選手は「車いすテニスだけでなく他のパラスポーツも応援してほしいです」と、今後の盛り上がり

に期待を寄せていました。最後はスペシャルゲストの3人がそれぞれコメント。「久々に3人で息を合わせて『雨あがりのステップ』を皆さんと一緒に歌うことができ、この夏一番の最高の思い出ができました。来年はパリ大会です。皆さん一緒にこれからもパラスポーツを盛り上げていきましょう」（稲垣さん）、「パラスポーツに触れると自分の中で新しい風が入ってくる感じがします。来年はパリパラリンピックですので、自分の中でこういう風を感じながら一日一日を大切にきて来年を迎えたいと思います」（草薙さん）、「こんなに楽しいイベントに参加させていただいてありがとうございました。来年のパリパラリンピックでは、熱く熱く応援したいと思います。パリに僕らが行く、これは絶対だ！」（香取さん）



【体験・セミナー】

都庁通りに、白杖やパラスポーツで使われる車いすレーサー、タンDEM自転車、ハンドサイクルなどの体験コーナーを設置。目隠しをしながら行う白杖体験では、「目の不自由な方がどれだけの思いをして街を歩いているか、わかりました」と“気づき”について話してくれた参加者もいました。また、車いすレーサー体験では、「まっすぐ漕ぐのがこんなに大変だとは思わなかった」と、パラアスリートの凄さを改めて知ることができたという参加者もいました。会場では、車いすのまま利用できるトヨタ自動車の「モバイルトイレ」が関東で初披露され、共生社会の広がりを感じることができました。



白杖体験



パラ陸上体験



トヨタ自動車「モバイルトイレ」

また、都民広場ステージ周辺の特設テントでは車いす体験、ボッチャ体験なども実施され、子どもから大人まで暑さに負けずに楽しんでいました。さらに都政ギャラリーでは、点字ブロックの説明、白杖の使い方、補助犬のデモンストレーション、福祉車両・電動車いすの試乗を組み合わせた共生社会を考えるミニセミナーも開催されました。



ボッチャ体験



ミニセミナー

＜参加者の声＞

- 車いすに乗ってみて、見ているのと乗った感じでは操作も難しく、視界等が全然違っていてもっと深く知りたいと感じました。
- ミニセミナーを受けて、パラスポーツとは障害がある方だけのスポーツでは無くユニバーサルなものだと話されていて、なるほどそうだと目が覚めました。

【ステージ&展示ブースほか】

都民広場ステージでは、東京 2020 大会マスコットのミライトワ・ソメイティが会場に集まった人とラジオ体操を行ったり、アクロバットパフォーマーの Asterisk NOVA（川原拓也さん・Saika さん）が、高さ7mのハンドバルンシングを披露したりと、1日を通してステージを盛り上げました。ハンドバルンシングの場面では、ときおり風が強く吹く悪いコンディションの中でも技を成功させ、大きな拍手が送られました。

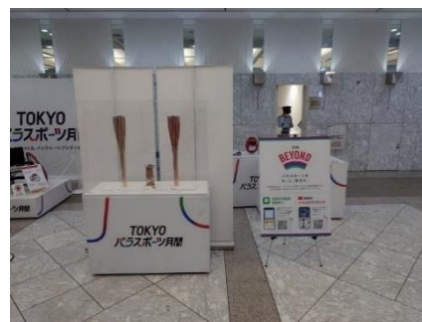


東京 2020 マスコットステージ&ラジオ体操



Asterisk NOVA パフォーマンス

都政ギャラリーでは、東京 2020 オリンピック・パラリンピックで使用されたさまざまなアイテムが展示されたほか、バリアフリー体感エリアとして補助犬紹介等のコーナーも設置されました。



東京2020大会アーカイブ展示



パラスポーツパネル展示



補助犬のデモンストレーション



電動車いす体験



GK Dyamics 義足カバー/
車いすレインコートの紹介

＜参加者の声＞

- いろいろな体験ができて、ミラソメ、アスタリスクノヴァのステージも良かった。
- 介助犬が見られてよかった。
- 道具の進化がすばらしく、もっと色々なものを見たいと思った。

都民広場に面した4号街路には、ソーシャルファーム※のキッチンカーが並び、参加者たちが美味しい料理に舌鼓を打ちました。

※一般的な企業と同様に自律的な経営を行いながら、就労に困難を抱える方が、必要なサポートを受け、他の従業員と共に働いている社会的企業のことです。



気温が猛暑日に迫る中、たくさんの方がパラスポーツの魅力に触れ、日頃から鍛錬を続けるパラアスリートの身体能力の高さを体感できた一日になりました。

2024年5月には兵庫県神戸市で世界パラ陸上選手権大会、8月にはパリでパラリンピック、そして、2025年11月には東京で聴覚に障害があるアスリートが集うデフリンピックが開催されます。世界で活躍するパラアスリートを応援する機会がまだまだ続きます。東京都は、今後もパラスポーツ、パラアスリートを応援するイベントを開催しますので、みなさまのご参加をお待ちしています！